

大阪ウォッチング

民衆救った私塾「含翠堂」

環濠自治都市・平野郷を歩く

「大阪の私塾といえば、福沢諭吉を輩出した緒方洪庵の適塾、山片蟠桃らが学んだ懷徳堂が有名だが、含翠堂はそれより早い1777年にできていると言うから驚く」。協会の女性医師・歯科医師の会が6月21日に取り組んだ「大阪ウォッチング」心なむ平野を歩く」で大阪市内人の西俣裕氏は、参加した歯科医師や医師、家族ら18人に、当時の自治都市・平野郷の文化レベルの高さを示した。



約150年前に建てられたという建物の「染織・まつや」は呉服の反物が並ぶ店。だが、もう一つの顔が「平野映像資料館」。店主の松村長二郎さんは平野の誇りである町人私塾についてこのように話す。「土橋友直を中心につくり、寄付で運営していました。一つの学派だけ教える藩校などと違い、どんな学派の先生も招きました。その教えは、商人らに金を貸し、利息を取って蓄積し、民衆を救うために使ったんです。飢饉の際にたびたび窮民を救済した



平野の誇りである町人私塾を語る松村長二郎さん

ことは、他の学塾にみられない特色です」参加者は「このままだけは財政再建団体になると脅しをかけ、教育・医療・文化などを削る。我慢の先は府民の幸せでは平野は、大阪市内のこと

こよりも古く形成された町。東に大和、南に紀伊をひかえ、平安時代から交通の要衝として発展した。戦国時代には町の安全と自治を守るため集落の周りを二重の堀と土居でめぐらし外敵の侵入を防いだ。これが「環濠自治都市・平野郷」の成立

である。第二次世界大戦の戦火をまぬがれ、江戸期に完成した碁盤目の町割りや、夏祭りなどの伝統行事の数々も生活の中に定着し、大都市大阪の中にあって今なお歴史息づく風土と景観を残している。ウォッチングは、地獄

西部・東部地区

新鮮な海の幸を堪能

福井日帰りバスツアー



楽しく飲食する参加者ら

大阪市西部地区、東部地区は合同で、「福井・越前海岸で海鮮料理を堪能する日帰りバスツアー」を6月22日に催した。「日帰りバスツアー」は、両地区がこの数年、恒例行事として企画している。当日は、両地区の会員

梅雨のまっただ中ではあったが、現地では新鮮な海の幸を思う存分食べ、今年もカラオケも楽しんだ。同地区は来年も「日帰りバスツアー」を企画する予定である。会員間の親睦を深めるため、地区内に限らず、多数の参加を呼び掛けている。(城東区・辻本勝)

歯周病と全身疾患―特に関係ある糖尿病について④

土井英暉 (東成区)

糖尿病の合併症の中に狭心症、心筋梗塞といった動脈性の疾患がある。これらの疾患の本態は、動脈硬化症である。

まずまず腎臓の機能も低下し、動脈硬化も進展するとう悪循環に、そしてついには心筋梗塞に繋がる。

糖尿病患者では、10人に1人の割合で動脈硬化を発症している。糖尿病に罹患すると血中の糖濃度が高くなり、ブドウ糖が脂肪と結合して血管壁に溜まり、血管が狭窄したり、脆くなるなどして出血しやすくなる。これによって機能喪失に基づ

く血管病変をおこし、その結果として、合併症である大血管障害・小血管障害に繋がることが深刻な問題となる。

また、糖尿病患者の中でも歯周病のある人は、ない人と比較して頸動脈の狭窄度が2倍以上もある。歯周ポケットから放出される「TNF- α 」が、血管内皮に作用して機能障害を起し、動脈硬化を進展させるのである。

血液中进行糖分や

系球体による過機能の低下、メタボリックシンドローム患者では内臓脂肪蓄積によるアディポサイトカインの分泌の増加によって増悪することが分かっている。その結果、全身の血管では動脈硬化が進行。そうなる

脂質の割合が30%以上になる脂肪肝では、非脂肪肝の人に比べて2倍以上の頻度で狭心症・心筋梗塞などの動脈硬化疾患を発病している。脂肪肝は、メタボリックシンドロームの第一段階であり、また動脈硬化の危険因子でもある。

コレストロール量と同じでも、歯周病が加わるだけで狭窄する危険が高まること分かる。動脈硬化性疾患の早期発見と治療の見地から、ABI検査、頸動脈や椎骨動脈や椎骨動脈の血管性状や血流動態を調べ、脳血管の血行動態と全身の動脈硬化の評価が同時にできる頸部血管超音波検査(頸動脈エコー)がある。

歯周病はさまざまな機序から糖尿病・メタボリックシンドロームに繋が

り、それが最終的にアテローム性動脈硬化を進展させることが明らかになっている。

日常の歯科臨床

119

歯周病はさまざまな機序から糖尿病・メタボリックシンドロームに繋が

ご案内

第49回 日本歯科医療管理学会

【大会テーマ】「安全・安心・快適な歯科医療をめざして!」医療保険改正・医療安全義務化・歯科医院経営について参加者が研鑽し、明日の臨床に直結するよう企画された学術大会です。

【日時】7月12日(土)、13日(日)

【会場】シティプラザ大阪(大阪市中央区)

【講師】坂本友紀(厚生労働省健康局、江藤一洋(日本歯科医学会会長)、大久保清男(日本歯科医師会会長)、黒崎紀正(東京医科歯科大学名誉教授)、三谷英夫(東北大学名誉教授)ほか

※その他、クリニカルセミナー、シンポジウム、テーブルトークなど

【会費】当日登録9000円、歯科技工士・歯科衛生士・学生5000円、懇親会8000円

【問合せ先】大阪歯科大学歯科技工士専門学校 06-72-0617-3605

協会行事案内

電話 06-6568-7731
お申し込みは ファクス 06-6568-0564

雇用管理研究会(歯科・医科協会共催)

「**医院経営に必要な改定労働法のポイント**」
パート労働法労働契約法等

7月度生涯研修
「**一から始める口腔ケアと維持・回復に必要な基礎知識(後期高齢者の口腔機能管理)**」

日時 7月20日(日) 午前10時30分~午後1時
会場 M&Dホール(保険医会館隣り)

講師 五島朋幸氏(東京都新宿区開業、ふれあい歯科(ことう代表))
会費 会員3千円、未入会者1万円

※在宅療養支援歯科診療所の施設基準に係る研修内容を含む

アシスタントのためのセメント・印象材練和テクニック

日時 7月20日(日) 午前9時30分~12時30分
会場 保険医会館5階 定員 20人

講師 岩崎小百合氏(歯科学術・臨床学会部員)
会費 会員院所スタッフ3千円

※開催要項、会場案内図を送付しますので、必ず事前にお申込みください

第2回 社保講習会

日時 7月26日(土) 午後6時~8時
会場 M&Dホール(保険医会館隣り)

講師 社保研究部講師団 定員 100人
会費 会員無料、未入会者1万円

内容 「検査・画像診断・投薬・麻酔、処置、手術」第3回8月23日(土)「歯周疾患、歯冠修復・ブリッジ、有床義歯」
※「歯科保険診療の研究」2008年4月版をお持ちください

北大阪地区講習会

「歯周病と全身疾患との関係」

日時 7月27日(日) 午前10時~12時
会場 千里阪急ホテル「仙寿の間」(千里中央) 駅南出口から徒歩3分)

講師 嶋井久一氏(日本歯科大学名誉教授)
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 150人

「**税務調査対策研究会(歯科・医科協会共催)**」

日時 8月30日(土) 午後3時~5時
会場 保険医会館 定員 50人

講師 協会顧問税理士団

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。
※M&Dホールとは、歯科・歯科協同組合が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。